

# 令和 2 年度特別養護老人ホーム紫桐苑事業報告書 (紫桐苑短期入所生活介護事業所含)

特別養護老人ホーム紫桐苑においては、入所者一人ひとりの人権と生活を尊重し、「自分らしい生活」を実現するための支援が施設サービスの基本と位置付けて取り組みました。

また、事業の実施にあたっては、地域における介護施設としての存在と役割を認識し、基本的な支援の水準を常に維持すること、地域及び地域住民との親しみある関係を築くこと、福祉人材の育成に寄与することが総合的に果たせることを目指して取り組みを進めてきました。

ただし、全国的な新型コロナウイルス感染症のまん延のため、高齢者介護施設での感染対策の基本である「ウイルスを持ち込まない・持ち出さない・広げない」の対策を徹底することで、入所者の生命を守ること及び職員の感染のリスクを避けることに終始取り組みを続けた一年でした。

## 1 事業の概況

### (1) 事業種類

介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

短期入所生活介護

介護予防短期入所生活介護

### (2) 事業規模

特別養護老人ホーム : 定員 50 名

短期入所生活介護 : 定員 10 名

## 2 事業の実施状況

### (1) 生活支援

#### ① 食事

食は健康と楽しみという重要な位置を占めることから、利用者への嗜好調査を実施して得られた意向を反映しつつ、個々の食形態や健康状態に応じた栄養管理を行って健康に過ごせるよう努めました。また、安全な食事を提供するために調理環境の衛生保持に努め、調理職員の細菌検査、厨房内消毒を月 1 回実施しました。感染対策の面では、テーブルにパネルを設置して、飛沫が拡散することの防止に努めました。

#### ② 入浴

入浴回数は、原則として一人につき週 2 回行い、更に本人の希望により入浴できるよう月曜日から土曜日まで入浴を実施しました。また、体調の都合で入浴できない場合においては清拭を行うことで衛生保持に努めました。

#### ③ 排泄介助

おむつ交換は、定時交換 4 回及び随時の個別確認、ケアコール対応により実施しました。

#### ④ 自分らしい生活

一人ひとりの生活のリズムを大切にし、本人の意思や意向を確認しつつ、自由で自分らしい生活が送られるよう、声掛けをしてサポートすることに努めました。個別ケアの推進及び感染対策も考慮したグループケアへの取り組みを始めました。

#### ⑤ 施設内行事・余暇活動

感染対策を重視する観点から、例年実施している行事の多くは中止とし、余暇活動は活動の

規模を縮小して行う状況となりました。ただし、人と人のふれあいの場や機会をもつことは、生活の質を向上させる上での大切な側面であることから、感染対策への工夫を施し、人数や規模に配慮して取り組んできました。

#### ⑥ 身体拘束ゼロ

身体拘束から起こるリスクの重大さを知り、「身体拘束を行わないのは当然である」という認識のもとでケアに取り組むことができました。また、やむを得ず身体拘束を行うケースにおいては、定期的な検証と経過観察をして対応することに努めました。

#### ⑦ 事故防止・リスク軽減

施設で起こりうる事故を未然に防ぐための定期的な会議をもち、また、発生した事象については、再発防止のための早急な対策会議をもって利用者の事故・リスク軽減に取り組みました。

### (2) 個別支援の充実

アセスメントから得た重点的なケアや個別性のあるサービスを提供できるように定期又は随時のサービス担当者会議をもち、入所者家族と多職種間の連携をもって取り組みました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
サービス担当者会議	11	8	8	14	6	9	11	9	7	12	6	10	111

### (3) 健康管理

入所者一人ひとりが心身ともに健康で充実した日常生活が送られるよう、定期バイタルの測定、嘱託医師による回診（水曜日）、健康診断を実施して健康管理を行いました。また、年間を通して、新型コロナウイルス感染症への対策が必要になったため、検温の機会を増やし、かつ新型コロナウイルス感染症に類似する症状の早期発見に努めました。その上で、協力医療機関の新里診療所との連携をもって、懸念される症状に対してはPCR検査を実施して早期の判別に努めました。加えて、職員は1日3回の体温の計測と健康状態の観察及び私生活においては不要不急の外出の自粛をもって感染症対策に取り組みました。

実施日	概要
7月7～16日 (9日)	入所者歯科検診実施（49名） 医療機関：宮古市国民健康保険新里診療所 ※この期間以後に入所された方は、入所後に随時実施
7月1、8、15、22日	入所者健康診断実施（50名） 医療機関：宮古市国民健康保険新里診療所 ※この期間以後に入所された方は、入所後に随時実施
11月4、11、18、26日	入所者インフルエンザ予防接種実施（49名） 医療機関：宮古市国民健康保険新里診療所 ※職員インフルエンザ予防接種実施 11月2日～18日

### (4) 口腔ケアの推進

入所者個々の口腔内状態の維持及び向上、誤嚥性肺炎予防・感染症予防並びに口臭を防止することを目的とし、新里診療所歯科医との連携をもって食前・食後の口腔ケアに努めました。連携して取り組んだ内容としては、入所者全員の歯科検診（年1回）、歯科衛生士の個別指導による口腔ケア（週1回）を実施しました。

### (5) 生活環境への配慮・衛生管理

新型コロナウイルス感染症対策として、三密を回避するための環境の改善や衛生面を強化する対応を県の支援事業を活用して実施しました。衛生管理の面では、正面玄関付近に洗面所を設置して、入館時に手洗いが行えるように改善を図りました。入所者と家族の面会については、感染対策を重視する観点から、施設内で直接面会できた期間がわずかでありました。また、面会に際しての決め事を設け、ご家族からの協力を得て実施してきました。更に、コロナ禍の面会の仕方

として、オンラインを活用した面会を導入しましたが、あまり利用の促進には至りませんでした。

#### (6) 会議

施設の運営及び管理、支援に対する方針の統一を図るため、各種の会議体を設置し、定期的な検証と検討をもって事業の推進を図りました。また、法人各事業所の職員で委員会を構成し、労働災害対策、危機管理、感染症対策、広報活動、内部研修、サービス評価については法人単位で取り組みました。なお、対面での会議を行う際は、人数を限定し、三密を回避する環境をもって実施しました。

#### (7) 専門組織及びチーム活動

入所者の生活支援の向上と充実を図るため、リスクマネジメント委員会を設置し、各職種の代表によってPDCAサイクルでの活動を展開しました。また、介護係における諸課題の解決、グループケアの推進を図るため、担当のチームでの活動も展開しました。

#### (8) 職員研修

新型コロナウイルス感染症対策のため、外部での研修機会は大幅に削減されました。かつ、本会の感染症対策の方針に則り、外部での研修参加を自粛しました。また、内部での研修においても三密の環境を回避する観点から、職員が集まる形態での研修の仕方を見直しました。資料を配布することやネット環境を活用する形の研修方法にて取り組みましたが、例年と比べると研修の機会はかなり減少した結果となりました。

実施月	概 要
9月	第1回職員スキルアップ勉強会「コンプライアンスと職業倫理及びパワーハラスメント」
10月	第2回職員スキルアップ勉強会「身体拘束廃止と認知症」
11月	第3回職員スキルアップ勉強会「実践で学ぶ吐物処理」
1月	第4回職員スキルアップ勉強会「介護記録の書き方」
	※一定の期間で研修を実施

#### (9) 防災対策

火災予防のため、また、自然災害の発生時に入所者と職員が一体となって行動が取れるよう防火・防災対策を計画し、編成している自衛消防隊により避難訓練を実施しました。

実施日	概 要
6月26日	第1回自衛消防避難訓練（夜間の火災想定） 凶上訓練 職員のみ
3月23日	第2回自衛消防避難訓練（夜間の火災想定） 避難・消火・通報訓練 宮古消防署新里分署員立会い

#### (10) 交流・ボランティア及び実習の受入れ

新型コロナウイルス感染症対策を重視する観点から、外部との交流、ボランティア及び実習の受入れは中止しました。

実施日	概 要
7月17日	新里小学校「新里太鼓」披露(紫桐苑駐車場)
9月9日	福祉学習の講師派遣（新里中学校）法人職員7名参加

### 3 利用者の状況

#### (1) 紫桐苑長期入所者

##### ① 年齢状況

	～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	計
男	0	0	2	2	2	3	3	1	0	13
女	0	0	2	1	9	10	7	6	1	36
計	0	0	4	3	11	13	10	7	1	49
比率(%)	0.0	0.0	8.2	6.1	22.4	26.5	20.4	14.3	2.0	100.0
平均男性 83.8歳      平均女性 88.3歳      全体平均 87.1歳      最高 102歳      最低 70歳										

##### ② 在所期間状況

	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	計
男	2	4	3	4	0	0	13
女	5	11	8	10	2	0	36
計	7	15	11	14	2	0	49
比率(%)	14.3	30.6	22.4	28.6	4.1	0.0	100.0
平均男性 4年2ヶ月      平均女性 4年5ヶ月      全体平均 4年4ヶ月 最高男性 8年10ヶ月      最高女性 14年9ヶ月							

##### ③ 入退所状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者	男	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
	女	1	0	2	0	1	0	0	0	0	1	0	1	6
退所者	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
	女	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	5
月末 在所者数	男	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	13	—
	女	35	34	36	36	36	36	36	36	35	36	36	36	—
	計	49	48	50	50	50	50	50	50	50	49	50	50	49
退所者の平均在所期間 5年9ヶ月														

##### ④ 新規入所者の入所前状況

	男	女	計
自宅	2	2	4
医療機関	0	4	4
老健他	0	0	0
計	2	6	8

##### ⑤ 退所者の退所後状況

	男	女	計
死亡	1	3	4
長期入院	1	2	3
計	2	5	7

##### ⑥ 介護度区分状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	0	0	1	8	4	13
女	0	0	5	18	13	36
計	0	0	6	26	17	49
平均男性 4.23      平均女性 4.22      全体平均 4.22						

⑦ 面会状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
対面	0	0	0	12	0	0	25	16	0	0	0	9	62
オンライン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑧ 苦情受付状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
苦情等	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

(2) 紫桐苑短期利用者

① 利用状況

	利用者数	最高齢	最年少	平均
男	14	93歳	69歳	83.0歳
女	44	102歳	52歳	94.6歳
計	58	—	—	88.8歳

実施日数	336日
利用者延人数	2,348人
1日あたりの利用者数	6.9人

② 介護度区分状況

	男	女	計
要支援1	0	0	0
要支援2	0	0	0
要介護1	0	4	4
要介護2	1	24	25
要介護3	7	9	16
要介護4	6	6	12
要介護5	0	1	1
計	14	44	58